

# 平成30年度事業報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

## 1 概況

2019年度税制改正大綱では、「消費税の引上げに際し、需要変動の平準化等の観点から、住宅に対する税制上の支援策を講ずるとともに、車体課税について、地方の安定的な財源を確保しつつ大幅な見直しを行う。さらに、デフレ脱却と経済再生を確実なものとするため、研究開発税制の見直し等を行う。また、都市・地方の持続可能な発展のための地方税体系の構築の観点から、特別法人事業税(仮称)及び特別法人事業譲与税(仮称)の創設等を行う。このほか、森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の創設、国際的な租税回避により効果的に対応するための国際課税制度の見直し、経済取引の多様化等を踏まえた納税環境の整備等を行う。」とした各種の改正が行われました。

法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、取り組まなければならない新たな制度の理解を深めるため、研修会等を実施してまいりました。

さらに、税に対する第一人者として、租税の理解に努め、中小企業の立場から望ましい税務知識の普及・啓蒙、税制・財政のあり方について調査研究を行い、税に関する研修会等を通じ、納税意識の高揚を図ってまいりました。

また、社会貢献活動を通じて、地域の振興に寄与し、未来を担う人材の育成を支援し、税制提言等の活動を通じて、地域の人々が安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいりました。

## 2 主な実施事業の概要について

### (1) 公益目的に資するための事業

#### イ 税を巡る諸環境の整備改善等を目的(税の啓発活動)とする事業

##### (イ) 研修相談事業

###### 税務研修会

税知識の習得、我が国の税制の現状、税務・会計処理等について、全法連等の作成教材を活用して、国税当局担当官を講師に、各種研修会を開催しました。

- ・会社の決算・申告の実務
- ・新設法人説明会
- ・消費税軽減税率制度
- ・年末調整事務に関する研修会(商工会議所、商工会との協力)

開催回数合計 11回 参加者数 1,154名

##### (ロ) 租税教育事業

###### A 租税教室

日本の未来を担う小学生に税の仕組みや大切さを教える租税教育活動は、極めて重要な活動と言えます。

鳥取県西部地区の21小学校におきまして、青年部会、東部支部、境港支部及び日野支部の役員、会

員が講師を担当し、実施しました。

#### B 税に関する絵はがきコンクールの募集、展示及び表彰式の開催

鳥取県西部地区の各小学校に11月26日から1月24日までの間、作品募集のため女性部会の役員、会員が呼びかけたところ、33小学校から1,357点の応募がありました。

これらの作品の展示を米子高島屋で、2月13日から3月6日までの約3週間行い、2月26日には優秀作品の表彰式を、ご家族をはじめ多くの方々に参加をいただき執り行いました。

さらに、多数応募をされました23の小学校には感謝状及び記念品を贈りました。

また、優秀作品等を掲載したカレンダーを作成配布しました。

#### C 租税教育事業研修会

全国青年の集い「岐阜大会」における、租税教育実施報告会に参加しました。

全国女性フォーラム「山梨大会」における、税に関する絵はがき作品募集事業報告会に参加しました。

#### (ハ) 税制改正提言事業

全法連全国大会「鳥取大会」で採択・確認された平成31年度税制改正に関する提言を地元国会議員をはじめ、米子市及び境港市の市長及び市議会議長にその実現への取組みを提言しました。

なお、平成31年度税制改正スローガンは当法人会会報第83号に掲載しています。

#### (ニ) 広報事業

新しい税情報の提供、地域の情報等を取り入れ、皆様に読みやすく、企業の発展に寄与しようと年2回の会報誌を発行しています。

また、会員のほか一般市民にも各種事業の情報提供や国税庁ホームページ等とのリンク設定を行って、より広範囲な情報提供をすることによる正しい税知識の普及、適正かつ公平な申告納税制度の維持発展に寄与してきました。

さらに、公益社団法人としての社会貢献活動の紹介を通じて、「企業の社会的責任への取組み」を訴えより多くの企業に「法人会事業への理解と参加」を求めて活動してきました。

- ・会報「みずどり」 8月 82号 3月 83号 年2回
- ・全法連「ほうじん」春夏秋冬新年号 年4回
- ・県連「県連通信」1月 年1回
- ・税金クイズ・地域イベントに参加 せいぶの農と食まつり(クイズ応募数 595枚)
- ・ホームページ、メディアの利用による情報発信

また、税関見学・税金クイズを神戸税関境税関支署と米子税務署(「税を考える週間」協賛で実施)の協力により、神戸税関境税関支署米子空港事務所で小学生と保護者を対象に税金クイズを実施、入国審査模擬体験や麻薬探知犬のデモンストレーションを見学しました。

#### ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的(地域貢献活動)とする事業

地域企業の健全な発展に寄与することを念頭に、一般教養や幅広い視点に立った講演会、研修会及び企業見学などを開催しました。

#### (イ) 経営支援事業

(講演会・研修会)

- ・諏訪貴子氏 「町工場の星 諏訪貴子氏に学ぶ新経営改革」
- ・河合雅司氏 「未来年表 ～人口減少日本で起きること～」
- ・藤井恵介氏 「改正労働基準法・働き方改革関連法への実務対応のポイント」
- ・汐田剛史氏 「高齢化社会を健やかに生きる ～健康寿命を保つ秘訣とは～」

開催回数合計 4回 参加者数 286名

(企業見学)

- ・パナソニックミュージアム、キリンビール工場
- ・ジ・アウトレットモール広島、八天堂みはら工場(女性部会)
- ・三光株式会社 工場(境港支部、東部支部、日野支部)

開催回数合計 3回 参加者数 83名

(ロ) 社会貢献事業

企業の社会的責任への取組みや地域社会との共生を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の皆様とともに取り組みました。

A 古タオルの回収及び施設への寄贈

会員企業をはじめ鳥取、倉吉方面の方々の協力のもとに、古タオル類の回収を行い施設に寄贈しました。

介護老人保健施設「ゆうとびあ」「はまかぜ」、障害者支援施設「もみの木園」

古タオル類 段ボール 約 130箱

B 米子市弓ヶ浜公園整備事業協賛

地球温暖化防止や環境整備を目的に社会貢献活動の一環としてサルスベリの木を寄贈しました。

C 西日本豪雨被災地復興支援 チャリティゴルフコンペ

従来、東日本大震災の復興支援を目的としていましたが、平成30年度は、7月に発生し中国地方に甚大な被害をもたらした西日本豪雨被災地復興支援の為、鳥取県西部総合事務所を通じて 224,000円を寄付しました。

(2) 会員の福利厚生や会員相互の親睦、交流等に関する事業

イ 福利厚生事業

会員の福利厚生に資することと、法人会財政の基盤確立に重要な事業である各種福利厚生制度の普及・推進を提携保険会社(大同生命保険、AIG損害保険及びアフラック生命保険)とともに取り組みました。

ロ 会員支援事業

多種多様な企業の団体という法人会の特色を生かした交流会を通じ、会員相互の交流の輪を広げることができました。

ハ 会員増強及び組織充実の活動

会員数の拡充は、組織強化のための重要な課題であり、新規会員獲得と退会防止に努め、法人会活動の活性化や事業の拡充に繋げていく必要があります。

平成31年3月31日現在 1,927社(前年1,913社) プラス 14社(加入 57社 退会 43社)

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会活性化には地元に着した法人会という支部活動が重要であることは、当然で、各支部地域の活性化や役員会を通じた活動を行い、支部会員の交流に視点を置いた企業見学会、講演会、税務研修等や、米子税務署幹部による研修会を通じて、組織の充実を図ってきました。

支部別会員状況

平成31年3月31日現在

支 部	期 首 会 員 数	平 成 30 年 度		現 在 会 員 数
		加 入	退 会	
米 子	1,398	39	26	1,411
境 港	314	6	9	311
東 部	129	8	6	131
日 野	72	4	2	74
合 計	1,913	57	43	1,927

ロ 青年部会・女性部会

青年部会は会員企業の経営者及び法人会役員の後継者育成の場であるとともに、法人会活動推進の担い手として大きな役割を有しています。

女性部会は女性活躍推進法に沿って、働く場面で活躍したいという女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、法人会の行う事業活動に積極的に参画し、法人会活動の充実と活性化に寄与することを目指しています。

これらの部会は、小学生を対象とした租税教室、税に関する絵はがきコンクールをはじめ、古タオルの回収寄贈活動など、法人会活動の主要テーマである税の啓発・普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体として、その役割を果たしてまいりました。

(4) 適時・的確な組織運営及び事務局運営

理事会を中心に適時、的確な委員会等の開催による組織運営とともに、事務運営において法令の遵守、相互監査による適正な処理に努めてまいりました。



